



農山村の地域資源を次世代に

『都市と農山村をつなぐボランティア活動』

とちぎ **夢** 大地応援団

平成27年度
新規推進地区



とちぎ夢大地応援団の平成27年度新規推進地区活動は、平成27年10月に佐野市中仙波、28年2月に那珂川町小砂、3月に那須町横岡地区で、それぞれ行われました。（次ページに詳細）

はばだけ夢大地

第20号 2016/3

とちぎ夢大地応援団事務局
(公財) 栃木県農業振興公社
栃木県農政部農村振興課

— 平成27年度 とちぎ夢大地応援団活動の紹介 —

☆新規推進地区

中仙波町内会

(佐野市 中仙波地区)

平成27年
10月18日
実施

夢大地応援団員11名と県や佐野市の関係者8名が参加して開かれ、11月に獣害防止柵設置予定地周辺の下草刈りや篠竹伐採を行いました。



那珂川町林業振興会

(那珂川町 小砂地区)

平成28年
2月28日
実施

夢大地応援団員（関係者含む）19名、林業振興会員13名が参加して、約2haの里山の篠竹や小木を伐採しました。



高瀬地区集落営農組合

(那須町 横岡地区)

平成28年
3月5日
実施

夢大地応援団員（関係者含む）19名、営農組合員14名が参加して、ホタル生息地を保護するためイノシシ侵入防止緩衝地帯づくり（篠竹等伐採）を行いました。



☆継続地区

柴田保全会

(佐野市 多田地区)

5月16日
実施

夢大地応援団員16名と地元柴田保全会員8名、関係者3名が参加して、再生農地の一斉草刈りを行いました。同地区は平成25年11月に1回目の夢大地応援団活動を行い、1.5haの耕作放棄地の草刈りや灌木の伐採を行い農地を再生させたのを契機に、残りの放棄地2.5haも会員の手で再生を図ってきました。



土呂部自治会

(日光市 土呂部地区)



夢大地応援団員10名、イベント関係ボランティア15名、地元自治会員15名等が参加して、約3時間にわたって地区内3カ所の耕作放棄地の草刈りを行いました。応援団には宇都宮大学のサークル『さとびと』の学生も参加し、手慣れた刈払い機操作で、約30aの放棄地をきれいになりました。



和田用水

ホテルの里の会

(鹿沼市 中粕尾地区)



夢大地応援団関係者27名、地元子供会やホテルの里関係者など総勢63名が参加して、ホテル生息地の水路清掃（外来植物コカナダモの除去）および水路脇の休耕田へ小松菜の種まきを行いました。また生き物観察も行われ、子供たちが採集したものの中に清流の証明ギバチやナベバタムシが何匹も採集されました。



国見棚田保全組合

(那須烏山市 国見地区)



日本の棚田百選に認定されている国見地区の活動が応援団員や宇都宮大学生、地元自治会員など80名が参加して開かれ、棚田周辺の草刈りを行いました。応援団員の内訳はナルク栃木会員8名や宇都宮大学農業経済学科の学生約40名、県農政部職員7名などで、約2時間にわたり棚田周辺の急傾斜地の草刈りなどに汗を流しました。



里山大木須を愛する会

(那須烏山市 大木須地区)

10月18日
実施

オオムラサキの保全活動など活発な活動を行っている大木須地区の活動が、応援団員27名、地元里山大木須を愛する会の会員24名等が参加して、休耕田2haと古民家周辺の草刈りを行いました。

応援団員は、ボランティア団体・ナルク栃木の会員14名、県農政部職員や市の職員12名等です。



柴田保全会

(佐野市 多田地区)

10月31日
実施

夢大地応援団員27名、地元柴田保全会員7名の合計34名が参加して、耕作放棄地の草刈りを行いました。5月に続き今年2回目の夢大地活動です。夏場に保全会員が草刈りを行ってきましたが、今回は作業の残った約1.5haの草刈りを団員と共にしました。



大柿地区グリーン ツーリズム推進協議会

(栃木市 大柿地区)

11月7日
実施

4年前から夢大地応援団活動に取り組んでおり、今回は応援団員15名、地元会員10名の合計25名が参加して開かれ、地区内で協議会が栽培している落花生の収穫作業を行いました。作業の手順を教わった応援団員は、落花生を引き抜いた後、ひとつひとつ苞を取る作業を黙々とこなしていました。



第2回活動報告 「栃木市大柿地区」 H27・10・3(土)

第3回活動報告 「佐野市中仙波地区」 H27・11・22(土)

カレッジ活動は、高校生や大学生、専門学校生に農作業体験を通して農業農村環境の維持・保全の重要性を学んでもらうのがねらいで、平成23年度から実施しています。

平成27年度の活動については、第1回が佐野市秋山地区で5月16日に佐野短期大学の学生が茶摘みや手もみ茶選別・加工の農作業を体験しました。(はばたけ夢大地第19号で紹介済み)

第2回は、栃木市大柿地区で10月3日、佐野短期大学生11人がヒガンバナ群生地から球根を掘り起こし、同地区内の国道近くの水田周りの土手に球根を植える作業を行いました。

また第3回は、佐野市中仙波地区で11月22日、佐野短期大学生と教職員13名が、里山と集落の境界部にシカやイノシシの侵入防止用メッシュフェンスを張る作業に取り組み、約300mにわたって防止柵を設置しました。

2回、3回の活動に参加した学生たちは、「自然に囲まれ楽しい体験ができた」「土いじりの大変さがわかった」「地元の人と一緒に楽しくコミュニケーションを取ることができ、いい思い出になった」などとボランティアの感想を語っていました。



◀ヒガンバナの球根掘取り

▲球根の植付け作業



▲メッシュフェンス張り作業

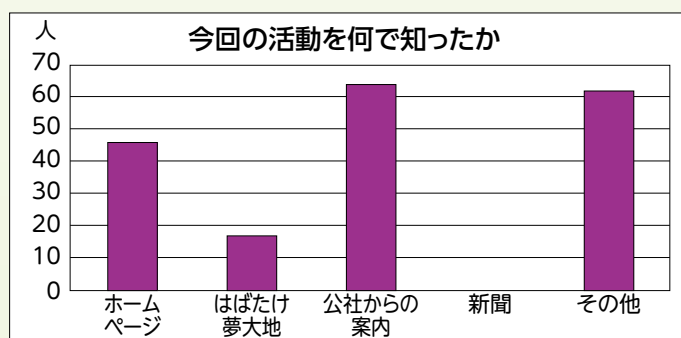
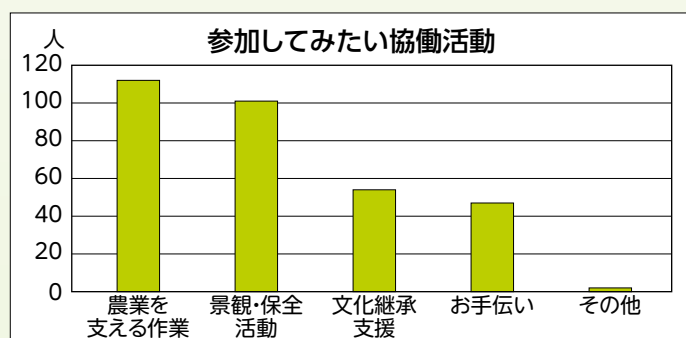
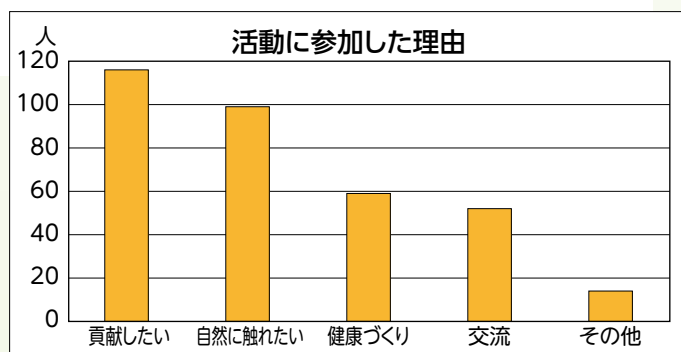
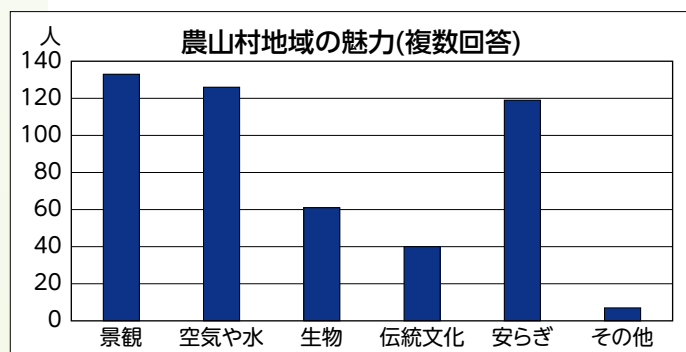
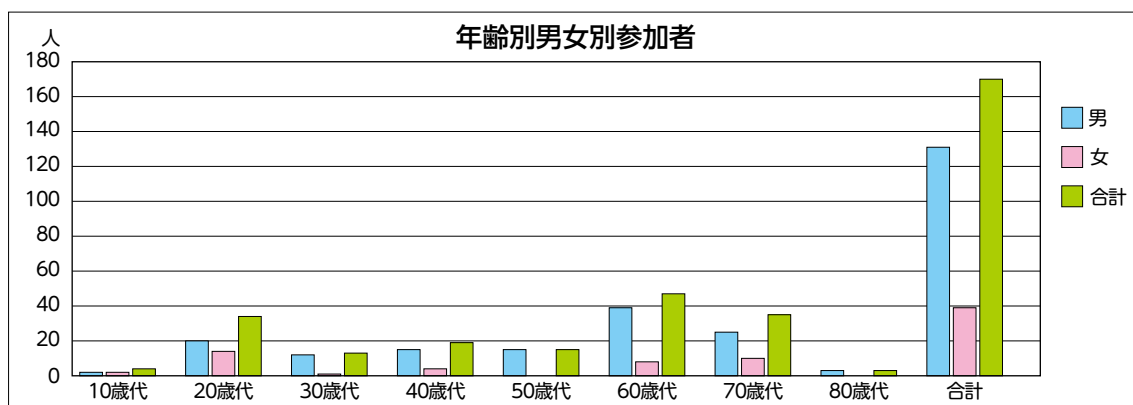


— アンケート調査 ご協力ありがとうございました —

平成27年度の夢大地応援団活動時に170名のボランティアの方々からアンケート調査に御協力をいただきました。アンケート集計の結果は下記のグラフのとおりです。

参加者は、男性が多く、年代別では60歳代が最も多く、次いで70代、20代がほぼ同数になっています。「農山村地域の魅力は」の問いには「美しい景観をみることができる」、「きれいな空気や水を感じることができる」、「心のやすらぎを感じる」の順でした。「ボランティア活動に参加した理由」では、「農村の環境保全に貢献したい」が最も多く、次に「自然に触れたい」、「健康づくり」、「同志と交流ができる」の順でした。「参加してみたい協働活動」は、「農業を支えるための水路清掃や耕作放棄地の刈払い作業」（112名）、「農山村の景観向上やホタルの保護等の生態系保全活動」（101名）を希望されています。

今後も活動への参加よろしくお願いします。



◎活動の詳細は農業振興公社ホームページ（とちぎ夢大地応援団の案内）でご覧ください。

◎とちぎ夢大地応援団活動は、県と農業振興公社が募集・活動の支援を行っています。

とちぎ夢大地応援団事務局

(公財) 栃木県農業振興公社

栃木県農政部農村振興課
中山間地域担当

<http://www.tochigi-agri.or.jp/yumedaichiouendan/index>

〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13
TEL 028-648-9515 FAX 028-648-9517
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2334 FAX 028-623-2337

とちぎ夢大地応援団

